

奥田瑛二

(俳優／映画監督)

おくた・えいじ
1950年3月18日生まれ。愛知県出身。1979年「もっとしなやかに もっとしたたかに」で映画主演デビュー。主な出演作として、映画「海と毒薬」三利休 本質坊遺文、「棒の哀しみ」、ドラマ「金曜日の妻たちへⅢ 恋におちて」男女7人夏物語、「ともにTBS系」などがある。映画監督としても「少女」「長い散歩」など5作品を発表している。



あったので3年延長して、101歳にしました。今、70歳ですから、最期にそう言えるようには、あと31年をどう生きるのが大事になる。

我々、団塊の世代は、明治生まれの祖父母と戦争を経験した両親のもとで育ち、昭和、平成、そして令和を生きてきました。東京オリンピックも、バブルも知っています。仕事をバリバリやり、酒を飲み、思う存分やってきたわけだから、みっともなくあがいがいやいかなと思うんです。潔くしないと、時代に申し訳ない。

幸い、義理の息子や娘たちは、我々、団塊世代を見て大人になり、因子を受け継いでくれているから、パワーがあります。彼らはコロナ禍でもおじけづくことなく、エネルギーを失うこともなく、でも慎重に、前へと進んでいる。あいつらが将来を支えていくと思うと心強いですよ。元氣が出ます。

健康面については、ありがたいことに妻と娘たちが口うるさく言ってくれます。水を1日2リットル飲め、とかね(笑)。最初は「そんなに飲めるか!」って抗っていたんだけど、だんだんと慣れてきて、今では「今日はずもう1リットル以上飲んだよ」なんて報告するようになった。だから家族には「今後もしつこく言い続けてくれ」って頼んであります(笑)。

そうやって生き続けて、いつか佑の父親である柄本明さんと、ジジイの闘い、みたいな共演をしてみたいな、と思っています。